

TOPICS 01 泉質が自慢、蔵王連峰の温泉郷



蔵王のふもとに点在する温泉地のひとつ。「傷には鎌先」ともいわれ、慕われている。夜は軒先の提灯が灯り、ノスタルジックな雰囲気があじわえる。



琥珀色のお湯が特徴の温泉。お籠りにびったりな宿から気軽に立ち寄れるホテルまで、さまざまな宿があり、街歩きも楽しい温泉地。

TOPICS 02 塕土料理から新メニューまで冬の味わいを



くちどけなめらかで優しい味のナチュラルチーズを使ったチーズフォンデュが人気。とれたて野菜と一緒に、蔵王をまるごと満喫して。



東北一の生産量を誇る亘理町、山元町のイチゴ。収穫体験はファミリーに大人気。摘みたての完熟いちごの味は格別です。



亘理町を代表する秋の味覚「はらこめし」。脂がのった鮭とブチブチのイクラは相性抜群。冬は宮城県産のホッキ貝のうまみを味わえる「ほっつきし」を。

TOPICS 03 蔵王の雪景色、阿武隈川沿いのどかな田園



開催期間：2月上旬

蔵王山懐に抱かれる青根温泉で開催されるロマンチックなイベントで、地域の人々が手作りする無数の雪灯籠の中に、ろうそくの灯りが揺れる。



蔵王連峰では、雪が木間に凍り付く、自然現象の芸術品「樹氷」を鑑賞できる。雪上車「ワイルドモンスター号」で行くツアーは一見の価値あり。



宮城と福島をつなぐ、今年で30周年を迎えるローカル線。田園地帯や阿武隈川を走り抜け、冬は車窓から飛来する白鳥が見られることも。